

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

Q1. 「ん」を識別せよ。

我れ行かん。

Q2. 「らん」を識別せよ。

都に雪降るらん。

Q3. 「けん」を識別せよ。

古代の人、いかに苦しみけん。

Q4. 「なん」を識別せよ。

雨降らなん。

Q5. 「ん」を識別せよ。

君も来んかし。

Q6. 「らん」を識別せよ。

なぜ花散るらん。

Q7. 「けん」を識別せよ。

いかにありしけん。

Q8. 「ん」を識別せよ。

早く帰らん。

Q9. 「らん」を識別せよ。

故郷の人、今いかにすらん。

Q10. 「けん」を識別せよ。

昔の人、何思ひけん。

Q11. 「ん」を識別せよ。

我れ仕うまつらん。

Q12. 「らん」を識別せよ。

月の都の人、今いかに住むらん。

Q13. 「けん」を識別せよ。

我が祖、いかに生きけん。

Q14. 「ん」を識別せよ。

春過ぎば、人皆嘆かん。

Q15. 「らん」を識別せよ。

いかなる宿世にあるらん。

Q16. 「けん」を識別せよ。

古き家、いかに栄えけん。

Q17. 「ん」を識別せよ。

知る人ぞ知らん。

Q18. 「らん」を識別せよ。

春や来ぬらん。

Q19. 「けん」を識別せよ。

古典ありしけん頃。

Q20. 「ん」を識別せよ。

いざ参らん。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

Q21. 「ん」を識別せよ。

行かん人を待つ。

Q22. 「らん」を識別せよ。

都に春や来ぬらん。

Q23. 「けん」を識別せよ。

昔の人もなく言ひけん。

Q24. 「ん」を識別せよ。

雪降らん夜は寒からん。

Q25. 「らん」を識別せよ。

我が思ふ人、いかに過ぐすらん。

Q26. 「けん」を識別せよ。

雪深き道を、いかに帰りけん。

Q27. 「ん」を識別せよ。

我れに任せん。

Q28. 「らん」を識別せよ。

都の事、いかにらん。

Q29. 「けん」を識別せよ。

大臣、いかに思しけん。

Q30. 「ん」を識別せよ。

あらん限り、励まん。

Q31. 「らん」を識別せよ。

鳥の声、聞こゆらん。

Q32. 「けん」を識別せよ。

先代の人、何を後の世に残しけん。

Q33. 「ん」を識別せよ。

我れ歌詠まんと思ふ。

Q34. 「らん」を識別せよ。

春や来ぬらん、雪まだ消えず。

Q35. 「けん」を識別せよ。

古き世には、いかなる契りありけん。

Q36. 「ん」を識別せよ。

言はんにはあらず。

Q37. 「らん」を識別せよ。

心づくしの秋風、いかに吹くらん。

Q38. 「けん」を識別せよ。

人皆、いかにあきれけん。

Q39. 「ん」を識別せよ。

山深くこもらん。

Q40. 「らん」を識別せよ。

都の月、今宵照るらん。

Q41. 「けん」を識別せよ。

何ゆゑかかる事ありしけん。

Q42. 「ん」を識別せよ。

仇を討たん。

Q43. 「らん」を識別せよ。

何処にて宿借るらん。

Q44. 「けん」を識別せよ。

いと心強くも侍りけんかな。

Q45. 「ん」を識別せよ。

月見ん人は出で給へ。

Q46. 「らん」を識別せよ。

我が宿に来鳴くらん鳥は何ぞ。

Q47. 「けん」を識別せよ。

古の聖、いかに学びけん。

Q48. 「ん」を識別せよ。

心強くあらんには。

Q49. 「らん」を識別せよ。

故里の事、いかにあるらん。

Q50. 「けん」を識別せよ。

古の友、いかに過ぐしけん。

【第3部】 応用編（Q51～Q80）

Q51. 「ん」を識別せよ。

兵を率ゐて打ち向かん。

Q52. 「らん」を識別せよ。

敵、すでに陣を布くらん。

Q53. 「けん」を識別せよ。

先陣はいかにかしけん。

Q54. 「なん」を識別せよ。

御身も無事におはせなん。

Q55. 「ん」を識別せよ。

こなたへ参らんかし。

Q56. 「らん」を識別せよ。

あら、何の音すらん。

Q57. 「けん」を識別せよ。

道中、いかに苦しみけん。

Q58. 「ん」を識別せよ。

我れ、命をも惜しまん。

Q59. 「らん」を識別せよ。

主君は今いづくにおはすらん。

Q60. 「けん」を識別せよ。

都を出でし時、いかに泣きけん。

Q61. 「ん」を識別せよ。

言ふもあへぬ事も語らんものを。

Q62. 「らん」を識別せよ。

いづくにてか宿らせ給ふらん。

Q63. 「けん」を識別せよ。

いかに心細く思ひけん。

Q64. 「ん」を識別せよ。

御供せん人は名乗れ。

Q65. 「らん」を識別せよ。

あはれ、誰がため衣を干すらん。

Q66. 「けん」を識別せよ。

古の聖人、何を悟りけん。

Q67. 「ん」を識別せよ。

軍を起こさんためなり。

Q68. 「らん」を識別せよ。

月いま西に傾くらん。

Q69. 「けん」を識別せよ。

何の宿縁にて生まれあひけん。

Q70. 「ん」を識別せよ。

いかなる事もせん。

Q71. 「らん」を識別せよ。

心ありてや見ゆらん。

Q72. 「けん」を識別せよ。

古き世の人も同じく思ひけん。

Q73. 「ん」を識別せよ。

雪解けて、春や立たん。

Q74. 「らん」を識別せよ。

風、波を起こすらん。

Q75. 「けん」を識別せよ。

我が祖父、何を思ひ伝へけん。

Q76. 「ん」を識別せよ。

言ふも愚かならん。

Q77. 「らん」を識別せよ。

海原はるかに波立つらん。

Q78. 「けん」を識別せよ。

古き恋、いかに終はりけん。

Q79. 「ん」を識別せよ。

死を恐れんや。

Q80. 「らん」を識別せよ。

鶯の鳴く声、谷より聞こゆらん。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

Q81. 「ん」を識別せよ。

何の用にも立たじ。捨てんものを。

Q82. 「らん」を識別せよ。

月のおもしろき夜、誰が床に伏すらん。

Q83. 「けん」を識別せよ。

異国の人、何を見けん。

Q84. 「ん」を識別せよ。

弓矢の道に身を捧げん。

Q85. 「らん」を識別せよ。

帝、御心痛め給ふらん。

Q86. 「けん」を識別せよ。

義経、いかなる思ひにて落ち給ひけん。

Q87. 「ん」を識別せよ。

一人として知らん者なし。

Q88. 「らん」を識別せよ。

故郷の親、今いかに我れを待つらん。

Q89. 「けん」を識別せよ。

業平の歌、いかにして詠み出だしけん。

Q90. 「ん」を識別せよ。

軍の中に紛れ入らん。

Q91. 「らん」を識別せよ。

落人、いづれの里に隠れゐるらん。

Q92. 「けん」を識別せよ。

古き世の母、何を子に語りけん。

Q93. 「ん」を識別せよ。

いかにかせん、ためらひ伏す。

Q94. 「らん」を識別せよ。

暁、鶏鳴く頃、何思ふらん。

Q95. 「けん」を識別せよ。

物思ひに沈み、夜もすがら泣き明かしけん。

Q96. 「ん」を識別せよ。

御代に二たびと逢はんにはあらず。

Q97. 「らん」を識別せよ。

紅葉散る里に、人や住むらん。

Q98. 「けん」を識別せよ。

古き世の人、いかに月を眺めけん。

Q99. 「ん」を識別せよ。

我れ、心を尽くして仕へん。

Q100. 「らん」を識別せよ。

春は花、秋は月、いつをかおもしろしと思ふらん。